

よ う こ う

N O . 8

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/yokodai2/>

12月朝会でのあいさつ

学校長 武田昭夫

皆さん、おはようございます。

中間テストも終わり今年も、今月残り1ヶ月となりました。

11月の下旬に入り、北海道や東北は雪になりました。12月は、関東でも朝夕特に寒くなりました。教室は、天気がいいと太陽が当たり暖かいのですが、曇り空や雨の時は寒くなります。教室にストーブを設置しましたが、教室内、特にストーブの回りで遊んで、やかんにぶつかったり、ストーブで火傷などしないように、十分気をつけてください。

また、寒くなったせいか、廊下を走る生徒が近頃多くなったように思います。小学校の時から言われてきています。「なぜ廊下を走ったらいけないか」分かっていると思います。大きな怪我をしないうちに、「廊下は走らない」を守るようにしてください。

ところで、11月18日、日曜日の東京国際女子マラソンを見ました。そして、次の日の読売新聞の夕刊に次のような「よみうり寸評」が載っていました。

『五輪の女子マラソンを連覇した選手はいない。今、その夢を実現できる立場にあるのは世界でもアテネ五輪の女王、野口みずき選手ただ一人だ。だから野口は国内の代表選考で負けたりしてはいけない 野口はファンのそんな期待にきちんと応えてくれた。きのうの東京国際女子マラソン。野口の走りは「五輪連覇もいけそう」とスポーツ紙一面の大見出しになる快走だった 2位のコズゲイ(ケニア)に2分もの大差をつけた大会新、ぶっちぎりの優勝だった。マラソンには神様がいらっしゃるらしい。36キロ地点でスパートした時「前に出ると言う何かが降りてきた」と野口 天から降りてきたなら神だろう。そこからは終盤の坂道、一番の難所。アテネの選考レースで、あの高橋尚子選手が大ブレーキを起こした所だ そこからぐいぐい引き離しにかかった強さに舌を巻く。35~40キロを16分台でカバーした。高橋は前半のオーバーペースで失速したが、野口は後半が前半を1分上回るスピード これで北京五輪代表はまず当確だ。おかげでファンも一緒に連覇の夢をつなげる。』(11月19日読売新聞夕刊)

これを読んで、野口みずき選手は、東京国際女子マラソンに優勝したことで、新しい目標、北京五輪のマラソン女子代表の一人として、野口選手は、練習をスタートすると思い



ます。今までよりももっともっと練習をしたいと思います。それは、日本から3名の選手、そして、世界の一流選手との競争です。世界の一位を目指すこと、オリンピックで優勝することは、簡単な事とは思いません。

3年生の皆さん、中間テストは終わりましたが、皆さんの目標である高校の入学に伴っての、高校入試はこれからです。今回の中間テストの結果が思ったより良かった生徒。この分では高校入試は大丈夫と思っている人はおりませんか。野口選手のように油断せず、入試までしっかり勉強してください。また、今回のテストで努力の足りなかった生徒も、これからスタートと思って頑張ってくれることを期待しています。

12月の下校時間は5:15です。暗くなっていますので、ちかんに会わないように気をつけて下校してください。友達と一緒に帰りましょう。また、自転車での事故が増えています。お年寄りには急に避けられません。事故を起こさないように、注意して自転車に乗ってほしいと思います。

美術部作品

B棟2階に展示してあります。ぜひご覧ください。



小中交流会・・・11月28日(水)に洋光台第二小学校、第四小学校の6年生児童が本校の授業と部活動を見学しました。四小の児童はまた、生徒会による説明会にも参加しました。「中一ギャップ」という言葉がありますが、そんな不安を少しでも解消できればと思います。



少人数授業の見学
の様子です。